

「教育現場の声をきいて！」

日本語教師

日本政府に意見書を提出 南米教師グループ401人



2017年7月に開催された第60回全ブラジル日本語教師研修会の開講式の様子 (参考写真)

南米10カ国と日本(南米での経験を持つ日本帰国者等)の日本語教師401人の集まり「声なき教師」が4月24日、「日本語教育推進法の基本方針(案)」に関する南米の教師(連名)からの意見書を日本政府に提出した。その中心になった一人、横溝みえさん(一世・愛知県)は「待遇改善や地位向上への取り組みや教材支援等を求める切実な声が多く寄せられた。これを機に『南米の日本語教育』の今後のために団結し、ビジョンを明確化していきたい」と熱意を込めて語った。

「南米で実施された日本語教育の推進に関する法律」を具体化した基本方針が作成され、それに関する一般の意見を求めるパブリックコメントが募集された。南米の日本語教師の間では「基本方針」に関して、当地の教育の現状に即していかないのではという疑問が浮上り、今回の意見書を送付に至った。特に心配する意見があったのが、南米と他地域の日本語教育レベルの違いだ。例えば北米の日本語教育は駐在員の子供や近年移住した日本人の子供などを中心に授業を行っており、英語と日本語を使いこなす高度バイリンガルな生徒が多い。一方、南米では移民子弟やブラジル人生徒が多いことから、年齢、学習背景や目的が異なる学習者が同じ教室内で学ぶことも多い。デカセギ帰国子弟には日本語のレベルも年齢相当に達しておらず、どちらの言語でも十分な感情表現ができない場合もある。その中で、バイリンガルの多い北米の意見が基本方針になつてしまうと、

南米が孤立状態に陥る可能性があると危機感が持たれていた。同時に当地の教師の待遇改善による教育水準維持向上についても多くの意見が寄せられた。当地の日本語学校の中には低賃金やボランティアの教師も多く、大学生が土日を利して授業を行うケースもあるという。日本語教師の待遇では生活維持できないという理由から働き盛りの20〜30代が少なく、このように諸処の事情から教育水準の維持向上が困難であり、その部分への支援を日本政府に要望している。今回の意見書は、横溝さんが中心となりオンライン会議での勉強会を開き、個々の意見をSNSで募つて意見書にまとめた。賛同者数は以下の通り。ブラジル205人、アルゼンチン36人、ウルグアイ3人、エクアドル2人、コロンビア13人、チリ10人、パラグアイ31人、ペルー48人、ベネズエラ27人、ボリビア12人、日本(帰国者等)14人。横溝さんは本紙の取材に

「日本語教育を南米で継続している日本語教師、一人ひとりの熱い思いと真摯な姿に心打たれました。そんな現場の声を聞いてほしかった」と語った。



「日本語教育を南米で継続している日本語教師、一人ひとりの熱い思いと真摯な姿に心打たれました。そんな現場の声を聞いてほしかった」と語った。

「敬意を称して」という言葉に続いて、公証人署名で結ばれた1958年6月17日付の書類にはこうかかれていた。「現在の登記所は迅速で組織立った処置を行っている。しかし、以前は従業員の不足、また、一室という場所の問題などで、訴訟にあつたの能力が非常に悪かつた。にもかかわらず、停止状態にあつた作業をみなおし、公文書や請願書の返事を待ち訴訟者を探したといえる。ゆえに、結果を得る時間は早まつたといえる。」

「聖市内に花届けます！」 モジの花生産者が直売で

新型コロナウイルスによる外出自粛措置で花屋が閉鎖され、販売経路が絶たれたサンパウロ州モジ・ダス・クルーズ市の花農家「田中農場(San Tanaka)」が直接に花の販売配達をはじめ、

取り扱う花は洋蘭類やアザレア、アジサイ、竹などの鉢植えを販売している。注文を受けてから4日から7日で配達する予定。配達先は主にサンパウロ市内のヴィラ・マリウロ市、シャカラ・クラビン区、アルト・ド・イピランガ駅周辺、サウデ区、パウリスタ大通り周辺、ビニエロス区、ペルジゼス区、コンソラン駅周辺などに隣接する地域に配達する。地域外には要交渉とのこと。取り扱っている花の写真はインスタグラム(@amigos.do.tanaka @sito.tanaka)やフェイスブック(Victor Tanaka)にも掲載中。注文や問い合わせの窓口はワッツアップ(クラウジA11-99992・2851、ヴィクトル11-996858・8546)で受け付けている。電話ではなく「必ずメッセージで問い合わせを」との注意。

花農家による直接販売のワッツアップ窓口の二つを担当する田中ヴィクトルさん(20)は、サンパウロ州立総合大学医学部に通う2年生。がらなかつた。組合員の子女で優秀な者は上級学校に進み、土から離れたしまつ傾向が強まってきた。敗戦でブラジル人意識を強めており、自然、個人主義に偏り、組合の協同精神には興味を薄れさせていた。下元が次に思いついたのが、日本から青年を導き出すという案であった。日本の農村の戦前の産青連運動、戦後の農協活動の中で生まれ育つた若者を呼び、新社会の建設隊にしよつとした。この件については後でまた触れる。(つづく)

謎の奇案(上) 傑物・下元健吉

1950年代、コチア産専務理事・下元健吉は、新政策を二件、打ち出した。いずれも誰も予想しておらず、理解もできなかつた。一つは、味で奇案であった。一件は日本からの大量の青年移民導入、もう一件はジャガレー区の6万平方メートルという広大な土地の購入である。

前者、つまりコチア青年の導入から話を進める。この案は、日本の農村から青年を移民として呼び寄せ、組合員の農場で就労させ、4年後に独立させて組合員とするという内容であった。その理由については、下元は「日本の農村の次三男問題解決への協力、新しい血の導入」などと説明したが、組合員は誰も釈然

としない。突然の話であったし、漠としていた上、導入数が千人単位という多さだったからである。それと既に日本政府の外務省と海協連を通じて、移民が入り始めていたために「組合が移民事業まで手を広げるのは適切ではない」と強い反対の声が上がつた。しかし下元は強引に押し進め、移民導入の許可を得るべく、理事長のフェ

リスを首都リオに派遣し、連邦政府の管轄機関と交渉させた。が、交渉は難航。フェリスは何度も断念しようとした。下元はそれを許さなかつた。この二人は、肩書とは逆に、下元がフェリスを指揮する関係にあつた。ある時、その交渉でリオに出張したフェリスが戻り、理事室の下元の処へ来て報告を始めた。が、二言、三言しゃべつた瞬間、下元がソファから身を起こし、太い眉を

逆立て、こぶしをメーザに叩きつけて怒り出した。報告内容が気に入らなかつたのだ。フェリスは下元に忠実であつた。改めて交渉を継続した。1954年漸く許可が降り、下元自身、訪日全中(農協の中央機関)に移住募集・送付業務を委託。さらに農林省や全国の主要農産物産青連を回つて協力を要請した。その間3カ月を費やして、約2500人が終わるが、少ない数ではない。しかも、経済復興が進み、移民希望者が減少、下元も故人になつていたので、さらにそうでなかつたら、さらに継続していただろう。何故、下元は、こま

「次三男問題解決への協力」は、日本側から、そういう要請を正式に受けていた形跡はない。しかるに何千人も導入する、それもブラジル政府の許可を無理し、下元自身、身が訪日、3カ月もかけて実現した。辻褄の合わない話である。「新しい血の導入」も根拠が示されていない。第一、これだけの数の青年の導入など、組合として何か重要な経営戦略がなければ、する筈がない。ところが、それがハッキリしなかつた。ハッキリしないまま下元は、導入開始の2年後に他界してしまつた。真の目的は謎のままとなつた。この謎を解くには、それまでの経緯を振り返つてみるのが適当であろう。すでに詳しく記したことがあるが、下元は戦前、戦中、戦後を通じて、貫して新社会建設を追求していた。建設のためには大量の若力が必要であつた。しかし終戦時、頼みの産青連は自壊してしまつた。ために1948年、組合員の子女の教育に着目した。産青連に代わる組織を作ろうとしたのだ。しかし、これは盛り上

緊急日誌
「コロナ禍」
福岡市に住んでいるニッケイ新聞の協力者から「日本政府から10万円給付金をもらつたのですが、私自身は困つていない。ニッケイ新聞の記事は更新し、PDF版は印刷も、サイトでは印刷版が一時停止している間も、毎日6月に出している「日本移民の日」の刊行も続けて無料公開してきた。だが印刷版を再開するまで購読料の徴収はすべて停止してあり、今でも広告収入はほぼゼロになっている。おかげで、今年6月に出している「日本移民の日」の特集号」の刊行も難しい。そうなるまで、新聞社は「福社団体に寄付を」と呼びかけることは多いが、「新聞社にも寄付を」と言うのは、どこか言い辛い。そんな中で、寄付の申し出は、涙がでるほどありがたい。

ニッケイ俳壇

(1063)

伊那 宏 選

サンパウロ

田中美智子

酒好きの五臓六腑に新酒かな
今年酒杜氏の苦勞今ここに
京の街琵琶湖疎水の水澄めり
月今宵すべて忘れむ今はただ

新種風邪他人事ならず家に隠る
大蔵省の懐妊する新種風邪
ビールに勝てず五輪は来夏へ
秋暑はバスはなか／＼来てくれず
お月見や妻がミカンを剥きくれし
マアアア

名を馳せている。収穫を終えたマ州大地は、今
傾いた晩秋の陽射しに覆われている。それだけ、
ただそれだけの光景ながら、雄大な自然の景観が
一読胸に迫ってくる。十二文字で表した大ハノラ
マアアア

春場所や観客なしの味気なき
秋愁いコロナ世界に蔓延す
コロナウイルス逃げワクチン予防薬
老いて子に似た大ハノラ
百までは生きている髪洗う

高田はるの
西田はるの

住谷ひさお

高田はるの

西田はるの

住谷ひさお

高田はるの

西田はるの

住谷ひさお

高田はるの

西田はるの

住谷ひさお

高田はるの

西田はるの

住谷ひさお

高田はるの

西田はるの

住谷ひさお

高田はるの

西田はるの

サンパウロ

吉田しのぶ

離着陸なき空港もコロナ禍か
四月馬鹿真顔で許すコロナ詐欺
晩酌に亡夫(つま)と交した月見酒
在宅勤務の孫に振舞ふとろろ汁
人の世のもも事これも露の世ぞ

露のようにほかない世に何と採め事の多いこと
か、加えてこの悪性の風邪の蔓延、作者ならずと
も嘆きたくなる世相である。露の世のされど露
の如き人の命よ——と、疫病に斃れていく犠牲者
を思わばこそ憤りと悲しみか心の底から湧いて
くる。然るに、それもこれも露の世と人は諦める
しかなない

サンパウロ

鈴木 文子

コロナ禍に尚爽やかに生きたしと
春場所や力合わせて乗り切りし
コロナ禍の無観客で春場所よ
秋晴にコロナ終息願ふのみ
合併も新しき道末の秋

「か」で全国に多くの句会を擁していたブラジルの
俳句界、時代の変遷に伴う急激な変化の中で衰微
の一途を辿って今に至っている。小さな句会も消え
求心力を誇った伝統ある句会も衰えるばかり、そ
んな現状下、派を超えた句会の合併こそ、しばし
の延命を図る。「新しき道」と唱える作者、しかし
ながら、悲しいことに今ブラジル俳句界の道は先
へ向かつてさらに細るばかりだ

サンパウロ

平間 浩二

ウィルスの五輪延期に秋愁ふ
存て生きている句の秋
秋灯や閉じては開く哲学書

「文学作品や句集ではなく、哲学書。しかも「閉
じては開く」のだ。難しい内容だからというので
はない。明らかに気持の逡巡を表している。己
の心の在り処と、哲学の論議を照らし合わせ
たとえ生れる心的葛藤。深く人生を探る作者の姿
勢が読み取れる。秋の夜の、静かな時の流れが俳
句の深みを引き出した」

モリス・カールセス 浅海 護也

奥ソロの起伏の大地秋耕す
群書の秋空高し郷の道
晩秋の麻州平原斜陽暮す

「天平原マツト・グロソソ州の晩秋。空と地平線だ
けの大空間。近年大豆の世界的な一大産地として

サンパウロ

森 律子

霧雨に白レインコート朝市へ
秋ぬいて娘歩くや車道側
イワシ煮や時においでトビシヤリ
エレベーター香りなつかし走馬灯
バラの花一輪さしに母し

初ゴイヤ貰い今日の食すむ
花ゴイヤ父母の苦勞の汗のあと

サンパウロ

太田 映子

田舎道はかない秋の虹に遭う
星月夜別れし人の路をたず
ふるさとの田に立つ案山子赤い服
甘柿をつるしてジャムに母の見え
幼子がコスモスつみてテアラの妃

サンパウロ

森 律子

アマンに五十八年星月夜
思い出は千鳥が淵の花筏
おもてなし庭一杯のランプータン
祝い事大豆黄粉のにぎり寿司
裾からげ木の実コッキンコ拾てる
幼子の顔中熟柿ほくそ笑む
秋の空二片の雲遊ばせ

サンパウロ

三宅 昭子

腰痛に耐えてひたすら春を待つ
秋惜しむ見惚れて過ぎ去る色
風吹けば雨降る如く木の実散る
木の実など拾い古里思い出す

サンパウロ

高谷 幸子

枝豆を好んで食べて子等達者
子等の手工木の実細工の良く出来て
自然なる草紅葉して風雅なる
柿熟れて鳥に幸い木の高さ
秋惜しむ時代隔てし子等と住み

サンパウロ

鹿島 和江

外出も出来ず窓より秋惜しむ
（新型コロナウイルスの流行もすでに三月余り、
外出禁止令などその封じ込めに国際社会一丸と
なって取り組みながら、未だ出口が見えないで
いる。夏の終わりに頭から秋へ、と老齢者は外にも
られず家に閉じ込められたまま、もう終わりに
てきた秋を窓から眺め、過ぎ行かんとしている
を惜しむしかない。コロナ禍を詠んだ句も沢山
の中で、こうした視点を変えた句がそろそろ生
れて来る句が、当俳壇にも散見できるようにな
った

サンパウロ

作野 敏子

読者文芸

「塔」歌会記

「塔」歌会

「塔」歌会

「塔」歌会

「塔」歌会

「塔」歌会

「塔」歌会

「塔」歌会

「塔」歌会

「塔」歌会

「塔」歌会

「塔」歌会

「塔」歌会

「塔」歌会

「塔」歌会

「塔」歌会

「塔」歌会記
一首の中の過去と現在 沖ななも
子を抱きし骸もありぬわれら八月七日の広島に
入りし
過去を回顧している歌であるため、過去形が「抱
きし」「入りし」二つ使われています。しかし「ありぬ
だけは現在完了形です。「子を抱きし骸もありぬ」は
過去の時点で、作者がその時に見て「ありぬ」と言っ
ているのです。「抱きし」の「し」は「た」の代り
して使っているかも知れませんが、著者(沖)には過
去形と見られています。

「塔」歌会
母と子の語り合ひつつ残る虫
福島の酒新撰大吟醸
成りゆきにまかす余生や残る虫
古井戸や釣瓶で汲みし澄みし水
亡き母の小柄な姿蜜草
去りし人呼ぶかに鳴いて残る虫
枯菊を焚きし匂ひの身に残り
伝統の家訓を継ぎし新酒かな

「塔」歌会 (4月分)
雨よ降れ青き若葉は強くなれ 祖父母はわれを今も
観ている
黒光る移民の小屋のたきには唐草模様の敷物のあり
経済をコロナウイルス頓挫させ笑っておらん大口開け
て
何世か混血の子の正座して柔道の稽古に微笑まざる
る
特大のおにぎり食べるる学生ら揺れる電車にお茶こ
ぼしい
紫陽花の蕾ふくらみ雨をよぶ七化け色のたたいまう
目陰してイペーの梢見上げるに歌うサビアの姿は見え
ず
雲間より切れきれにさす夕あかね君住むビルの窓を
彩る
青々と刺りたる頭撫ぜをりぬ望む学部を射止めて孫
は
満開のさるすべりより蝉声のふいに飛び出てその声高
し
イグアスの食べ放題のピツアリアに出番とばかりコ
チア青年
腹減ったあお腹減った腹減った頭の中は食べ物だらけ
テレビにて毛元就観たのちに武家のことばが我等に
移る
歯を病めば豆腐はよいが揚げかめずフェジヨンの時は
思いもせぬが
コロナウイルスに振り回されてコロナとは一体何だと
叫び聞きたい
人への飛行機にのり船にのりコロナウイルス人の世に
いる

「塔」歌会
須賀吐句志
平間 浩二
田中 ユキ
井上 人栄
富岡 絹子
原 はる江
玉田千代美
林 とみ代

「塔」歌会
須賀吐句志
平間 浩二
田中 ユキ
井上 人栄
富岡 絹子
原 はる江
玉田千代美
林 とみ代

「塔」歌会
須賀吐句志
平間 浩二
田中 ユキ
井上 人栄
富岡 絹子
原 はる江
玉田千代美
林 とみ代

「塔」歌会
須賀吐句志
平間 浩二
田中 ユキ
井上 人栄
富岡 絹子
原 はる江
玉田千代美
林 とみ代

「塔」歌会
須賀吐句志
平間 浩二
田中 ユキ
井上 人栄
富岡 絹子
原 はる江
玉田千代美
林 とみ代

「塔」歌会
須賀吐句志
平間 浩二
田中 ユキ
井上 人栄
富岡 絹子
原 はる江
玉田千代美
林 とみ代

ブラジル日系社会
に生きた鬼才
鈴木悌一
半田知雄
その生涯

ブラジル日系社会
に生きた鬼才
鈴木悌一
半田知雄
その生涯

ブラジル日系社会
に生きた鬼才
鈴木悌一
半田知雄
その生涯

ブラジル日系社会
に生きた鬼才
鈴木悌一
半田知雄
その生涯

ブラジル日系社会
に生きた鬼才
鈴木悌一
半田知雄
その生涯

ブラジル日系社会
に生きた鬼才
鈴木悌一
半田知雄
その生涯

ブラジル日系社会
に生きた鬼才
鈴木悌一
半田知雄
その生涯

ブラジル日系社会
に生きた鬼才
鈴木悌一
半田知雄
その生涯

ブラジル日系社会
に生きた鬼才
鈴木悌一
半田知雄
その生涯

お問い合わせはニッケイ新聞編集部まで。地方発送も出来ます！ ☎ 11-3340-6060

ニッケイ新聞編集部「移民と日本人—ブラジル移民110年の歴史から—」 深沢正雪著、無明舎出版、2019年

420年前に南米にきた日本人の歴史 ブラジル移民の歴史から学ぶこと

移民と日本人
明治のどんな部分から、ブラジル移民は生まれたのか？
なぜ日系人の中で沖縄県系人が一番多いのか？
世界最大の日系社会がどのようにブラジルに築かれ、
なぜ広島、沖縄、熊本、福岡などの特定県に
日本人移民は偏っているのか？
特別価格 R\$150
本紙記者が20年以上に
わたり追いつけたブラジル
日系移民の歴史と今を
集めた渾身のレポート
半田知雄
その生涯
鈴木悌一
その生涯



トヨタ 営業益予想 79%減

社長「衝撃リーマン以上」

世界販売155万台減へ

【共同】トヨタ自動車は12日発表した2021年3月期の連結業績予想は、本業の伸びを示す営業利益が前期比79.5%減の5千億円となり、東日本大震災後の12年3月期以来の低水準に落ち込むと見込んだ。

コロナ拡大で需要低迷

2020年3月期決算説明会



豊田章男 Akio Toyoda

オンラインで記者会見するトヨタ自動車の豊田章男社長。新型コロナウイルス感染拡大の影響で新車需要が急減し、営業利益予想が落ち込んだ(共同)

景気指数9年ぶり悪化幅

コロナで生産、消費低迷

【共同】内閣府が12日発表した3月の景気動向指数(2015年=100、速報値)は、景気の現状を示す「一致指数」が前月比4.9ポイント下落の90.5となり、東日本大震災が起きた2011年3月(6.3ポイント)以来、9年ぶりの悪化幅だった。

中国、豪産食肉の輸入停止

コロナ巡る関係悪化影響か

【北京共同】中国税関総署は12日までに、オーストラリアの4企業からの食肉輸入を同日から停止すると発表した。中国外務省は、これらの企業の牛肉製品に相次いで問題が発覚したためと説明し、中国は新型コロナウイルスの発生源を巡る調査の必要性を訴えるオーストラリアに強く反発しており、両国関係悪化が影響した可能性があると指摘している。

教育支援 7割が休止縮小

海外ルーツの子学習に支障

【共同】海外ルーツの子どもの教育支援活動に取り組む全国約100のNPOや個人などを対象にしたアンケートで、7割が新型コロナウイルスの影響で活動を休止、縮小していることが分かった。休校長期化で学習に支障が出ている上、日本語の話せない保護者へのサポートも必要だと、支援団体の一人が訴えている。

パリ、コロナ前の日常遠く

外出「自由」も市民懸念

【パリ共同】フランスで11日、新型コロナウイルス対策で3月17日かから続いた厳しい外出制限が解除され、パリ市民は久しぶりに外出の「自由」を味わった。友人と早速集まる若者の姿も報道されたが、感染再拡大を押し下げ、景気低迷を長引かせる恐れがある。

外出制限解除 慎重に

【ジュネーブ共同】世界保健機関(WHO)のテドロス事務局長は11日の記者会見で、新型コロナウイルス感染拡大の鈍化を受け、欧州などで外出制限の緩和が進められていることについて「命や生活を守るためにも徐々に、着実に解除していくことが重要だ」と述べ、慎重かつ段階的に実施していく必要性を訴えた。

中国に聞け」と激怒

米大統領に不適切と批判

【ワシントン共同】トランプ米大統領は11日の記者会見で、米国の新型コロナウイルス検査件数は世界一だとアピールした発言を巡り中国系米国人記者から批判的な質問を受け、「中国に聞け」と怒りをあらわにした。会見も唐突に打ち切った。

米、中国人記者の滞在制限

有力紙排除で報復措置

【ワシントン共同】トランプ政権は11日、中国人記者の米国内滞在を90日間に制限する措置を官報で公示した。滞在申請にはその都度、追加申請が必要となる。中国記者が米有力紙の中国駐在記者を事実上排除したことへの報復措置。互いの国で活動する報道機関への対応を激化し、米中対立が一段と深化した。

パリ、コロナ前の日常遠く

【パリ共同】フランスで11日、新型コロナウイルス対策で3月17日かから続いた厳しい外出制限が解除され、パリ市民は久しぶりに外出の「自由」を味わった。友人と早速集まる若者の姿も報道されたが、感染再拡大を押し下げ、景気低迷を長引かせる恐れがある。

中国に聞け」と激怒

米大統領に不適切と批判

【ワシントン共同】トランプ米大統領は11日の記者会見で、米国の新型コロナウイルス検査件数は世界一だとアピールした発言を巡り中国系米国人記者から批判的な質問を受け、「中国に聞け」と怒りをあらわにした。会見も唐突に打ち切った。

米、中国人記者の滞在制限

有力紙排除で報復措置

【ワシントン共同】トランプ政権は11日、中国人記者の米国内滞在を90日間に制限する措置を官報で公示した。滞在申請にはその都度、追加申請が必要となる。中国記者が米有力紙の中国駐在記者を事実上排除したことへの報復措置。互いの国で活動する報道機関への対応を激化し、米中対立が一段と深化した。

アビガン外交「本格化」

日本、中国医療支援にらみ

【共同】政府は、新型コロナウイルス感染症に効果が期待される新型インフルエンザ薬「アビガン」の各国への無償提供を本格化させている。日本が開発した薬の供与を通じて、収束に向けた国際社会への貢献を狙う。医療支援を支援する「マスク外交」を展開する中国をにらみ、日本は「アビガン外交」で存在感をアピールしたい考えだ。

補償なく、団体支援訴え

コロナ拡大で突然解雇

【共同】新型コロナウイルスの感染拡大を理由に、補償なく突然解雇された。弁護士や労働組合でつくる「生存権を守る会」は、約18年働いていた都内の居酒屋を解雇された男性が出勤拒否を拒否し、4月下旬突然社長に呼び出され「電車通勤で感染リスクが高い」との理由で解雇を受け取れるよう、国にサポートするべきだと訴えた。

南米神宮

南米神宮の活動に関する情報。外国人労働者からの支援活動について紹介している。

南米神宮

南米神宮の活動に関する情報。外国人労働者からの支援活動について紹介している。

Publication information for Nikkei Shimbun, including contact details for the editorial and advertising departments.

Advertisement for Nikkei Shimbun, featuring a photo of a person and text about the newspaper's content and subscription information.